



## CH-Ⅱ 可変側溝

### 概要・特長

CH-Ⅱ可変側溝は、独自の技術で蓋版の騒音を解消し、ボルト連結とシール材の使用によって、目地モルタルの手間を軽減し、強固で機能的な道路側溝を構築することができます。

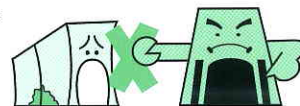
#### 1 水路勾配が自由自在

平坦な道路でも、道路勾配と逆方向に流す場合でもインバートコンクリートの打設により、水路勾配を自由自在に設定可能です。



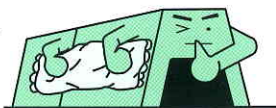
#### 4 シール材を使用したドライな施工

継手部に軟質止水材を用いており、目地モルタルを行う煩わしさがありません。



#### 2 騒音が発生しません。

従来から使用されている側溝蓋は、蓋掛け部の不陸などから車両走行時にガタツキ音が発生するケースがありましたが、当社独自の技術により騒音の発生しない蓋掛け構造となっております。



#### 5 T-25の走行荷重に耐える設計

全ての規格において（歩道用蓋除く）、車両総重量25t、後輪荷重50kNの直載に耐える構造となっております。



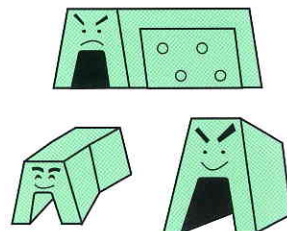
#### 3 堅固なボルト連結工法

ブロックの弱点である継手部に強度をもたせ、目地離れ防止する構造となっております。  
※街渠用はプレート連結となります

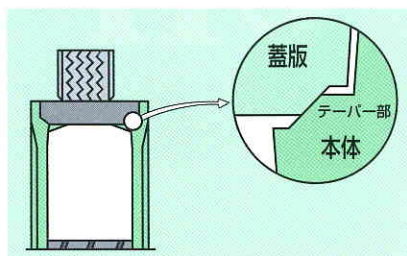


#### 6 多種多様なオプション

コーナー製品や孔開き製品、各自治体のニーズに応じた設計条件品など、あらゆるご要望に応じた製品を取り揃えています。



### 無騒音蓋について



蓋掛け部イメージ

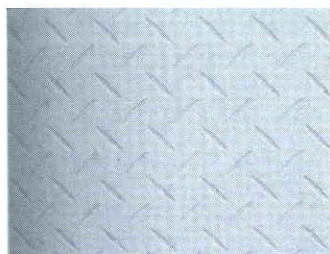
※水路幅300～600に採用（横断品除く）



蓋掛け部写真

- ①蓋係り部がテーパ形状となっている事により蓋版が食い込み、多少の不陸があってもガタツキが生じません。
- ②蓋版の食い込みにより、摩擦抵抗が増加する事から、車両走行時の跳ね上げが防止できます。
- ③本体蓋掛け部が斜めなので、施工時などに小石を噛む事が無くなり、ガタツキが発生しません。
- ④ゴム板などの副資材を用いませので、経済的に騒音対策が可能です。

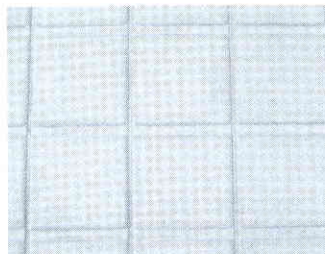
### 表面模様



縞鋼板模様

販売地域

関東、中部  
関西、中国地方



格子模様

販売地域

北陸地方

※各製品の表面に、縞鋼板模様、格子模様、無地の表記をしております。